

怪物の娘が2歳女王に輝く



第68回阪神ジュベナイルフィリーズ(GI) 優勝馬 ソウルスターリング



ファンタジーステークスで出遅れながら豪快な差し切り勝ちを収めたミスエルトは、翌週の朝日杯フューチャリティステークスに出走するため不在。それでも新潟2歳ステークスのヴゼットジョリー、小倉2歳ステークスのレーヌミノル、アルテミスステークスのリスグラシュー、そしてデイリー杯2歳ステークスのジュヌエコールと、他の重賞ウイナーは4頭すべてが出走してきた。しかも、そのうち3頭は牡馬相手の重賞勝ち馬。「ハイレベル」と噂される世代の2歳女王の座は、粒ぞろいのメンバーによって争われることとなった。

しかし、そんな興味深い一戦を制したのは先に挙げたどの馬でもなかった。まだキャリア2戦、新馬戦とオープンアイビスステークスを勝っただけながら堂々の一番人気に推されていた東の怪物、ソウルスターリングだった。

レースはアリンナが1頭で飛び出し、後続を2馬身ほど離して逃げる展開となった。ソウルスターリングは2番枠から好スタートを決め、先団のインを折り合って追走。持ったままの手応えで直線、内からアリンナに並びかけると、残り250m過ぎに満を持してスパートするや、一気に後続を突き放してしまっ



▲ソウルスターリング(帽色:白)は、好位の内ですら4コーナーを回る。

## 第68回阪神ジュベナイルフィリーズ(GI)

12/11 阪神競馬場 1600m(芝・右・外) 晴・良 18頭

着順	馬名	性別	年齢	斤量	騎手	調教師	タイム/着差	人気	通過順位
1	ソウルスターリング	牝	2	54	C.ルメール	藤沢 和雄	1:34.0	①	③④
2	リスグラシュー	牝	2	54	戸崎 圭太	矢野 芳人	1 1/4	②	⑫⑬
3	レーヌミノル	牝	2	54	蛸名 正義	本田 優	1 3/4	③	⑮⑯
4	ディーバワンサ	牝	2	54	A.シュタルケ	松下 武士	2	⑤	⑧⑨
5	ヴゼットジョリー	牝	2	54	和田 竜二	中内田充正	1/2	⑥	⑭⑰
6	ゴールドケープ	牝	2	54	丸山 元気	荒川 義之	クビ	⑭	③⑫
7	サトノアリシア	牝	2	54	池添 謙一	平田 修	1/2	⑦	⑩⑪
8	アリンナ	牝	2	54	田辺 裕信	松元 茂樹	ハナ	⑧	①①①
9	フェルトベルク	牝	2	54	川島 信二	荒川 義之	1 3/4	⑩	⑭⑰
10	スズカゼ	牝	2	54	松田 大作	伊藤 正徳	1/2	⑰	⑥⑮
11	ジュヌエコール	牝	2	54	M.バルザローナ	安田 隆行	3/4	④	⑥⑮
12	ブラックオニキス	牝	2	54	城戸 義政	加藤 和宏	1/2	⑬	⑨⑩
13	ショウウェイ	牝	2	54	松若 風馬	斉藤 崇史	1 1/4	⑩	⑫⑫
14	シグルーン	牝	2	54	藤岡 康太	宮 徹	1/2	⑨	⑫⑬
15	クインズサリナ	牝	2	54	V.シュミノ	西村 真幸	7	⑫	⑨⑩
16	ジャストザマリン	牝	2	54	四位 洋文	牧浦 充徳	1 1/4	⑪	⑨⑮
17	ボンボン	牝	2	54	嘉藤 貴行	田中 清隆	クビ	⑮	⑬⑮
18	エムオービーナス	牝	2	54	木幡 初也	鹿野 雄一	7	⑯	⑮⑰

単勝 ②280円 複勝 ②120円 ③120円 ④170円 枠連(1-8)300円  
馬連 ②-③510円 馬単 ②-③900円 ワイド ②-③240円 ②-④430円 ④-③350円  
3連複 ②-④-③1,210円 3連単 ②-③-④4,250円

ハロンタイム 12.4-11.0-11.3-12.0-12.1-11.5-11.5-12.2  
通過タイム 600m ③34.7-800m ④46.7-1000m ⑤58.8-1200m ⑥1:10.3-1400m ⑦1:21.8

### 優勝馬 ソウルスターリング

2014.2.13生 父Frankel 母スタセリタ 母の父Monsun  
千歳・社台ファーム生産 馬主:(有)社台レースホース

あとはそのまま力強いフットワークでゴールに向かうだけ。スタートで出遅れたリスグラシューが大外を回って懸命に追い込み、好位から抜け出して粘るレーヌミノルを交わして2番手に上がるが、ソウルスターリングはその1馬身以上前。まさに完封だった。

ソウルスターリングの父フランケルは、英2000ギニーなどG1 10勝を含む14戦14勝の輝かしい成績で引退、種牡馬入り。この世代が初年度産駒で、ソウルスターリングの勝利は同産駒の世界初のGI勝ちということになった。

また、母のスタセリタは仏・米でG1 6勝の名牝だが、現役時代は他ならぬクリストフ・ルメール騎手が手綱を取って仏オークスなどを勝っている。「お母さんもスペシャルホースでした」と笑顔で話すルメール騎手の表情は、その娘で達成したGI勝ちの喜びに満ち溢れていた。



▲フランケル産駒初のGI馬となったソウルスターリング。